

幌延町地域振興(観光)計画 アクションプラン 【概要版】



平成30年3月

1. アクションプランの策定目的・概要

○目的

「幌延町地域振興(観光)計画」推進に向けた具体的取組みを定めることを目的に策定する計画です。

○概要

総合計画の下位に位置付けた「幌延町地域振興(観光)計画」を補完するためのプランです。(下図参照)

幌延町地域振興(観光)計画に基づいた方策を展開するため、「短期」「中期」「長期」の大きなスケジュールに沿い、具体的取組みを記載しています。

なお、本プランは、上位計画である「幌延町地域振興(観光)計画」の見直し時の他、PDCAサイクルに基づき、必要に応じてプランの見直し・改善を行います。

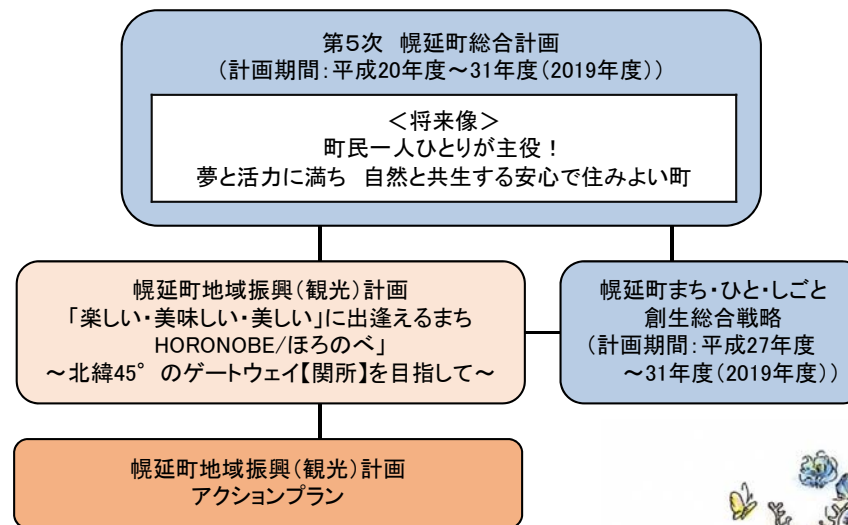


図1.各種計画の位置づけフロー

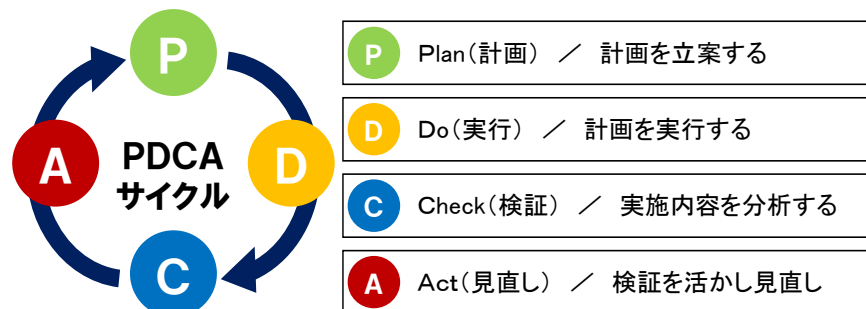


図2.PDCAサイクル図

基本戦略	主な施策		今後のプラン（アクションプラン）		
			短期	中期	長期
戦略1. 既存観光施設の魅力向上	トナカイ観光牧場	戦略1-1 観光客受入環境整備の推進	・体験メニュー商品化・旅行会社等へのプロモーション	・旅行会社等へのプロモーション ・受入環境整備の推進	・体験プログラムの強化・充実 ・受入環境整備の推進
		戦略1-2 トナカイのイメージを活かした演出	・サンタクロースや北歐、漫画など活用するイメージ確立	・イメージに沿った整備やサービスの提供	・イメージを活用した観光まちづくりの推進
	ノースガーデン	戦略1-3 美しく花を見せる花壇の整備	・ボランティア募集方法と取り組み内容の検討	・継続的なボランティア実施	・ボランティアツーリズム等による交流人口拡大
	幌延ビジターセンター及びサロベツ原野エリア	戦略1-4 自然を体感できるメニューの開発と提供	・商品化できるメニューの絞込み及び商品化に向けた具体的な検討	・旅行会社等へのプロモーション ・着地型の旅行商品の開発	・旅行者の受入れ拡充
		戦略1-5 木道等の環境整備	・ボランティアによる環境整備の実施	・旅行者や来訪者が関わる環境整備の在り方検討	・町民、来訪者双方が関わることのできる環境の整備
	オトンレイ風力発電所	戦略1-6 クリーンエネルギーや風車を体感できるメニューの開発	・具体的な体感メニューの検討	・メニューの一部試行と改善	・旅行会社や来訪者へのPRや旅行会社への売込み ・旅行者の受入れ拡充
戦略2. 雄大な自然資源の活用	戦略2-1 北大天塩研究林を活用した教育型プログラムの開発と提供		・教育型プログラムを提供する組織・内容の検討	・旅行会社等へのプロモーション ・旅行者の受入れ	・旅行者の受入れ拡充
	戦略2-2 四季に応じた体験メニューの開発（山菜、鮭の捌上、バードウォッチング等）		・商品化できるメニューの絞込み・商品化検討	・旅行会社等への売込みや着地型商品の造成	・旅行者の受入れ拡充
戦略3. 幌延らしい新しい観光の創出	戦略3-1 秘境駅等の鉄道資源を活用した観光振興		・鉄道ファンに向けた町の魅力発信方策の検討	・JR等との連携による独自ツアー等の検討	・旅行者の受入れ拡充
	戦略3-2 サイクリング、やカー、フィッシング、徒歩等のクワイエットスポーツによる観光振興		・スノーカイト大会の継続開催支援や町内への普及 ・受入体制の充実	・競技フィールドの拡充 ・ホスピタリティの強化 ・外国人受入体制の充実	・バックカントリースキーとの連携 ・旅行者の受入れ拡充
戦略4. 幌延らしい滞在メニューの開発	戦略4-1 豊かな自然を身近に感じるキャンプ場の利活用		・利用者の現状・意向の把握	・キャンプ場のPR・受け入れ	・キャンプ場活用に向けたさらなる整備検討
	戦略4-2 酪農等を体験する農家民泊の実施		・民泊制度の整理・受入れ可能農家等の整理	・試行的な受入れの実施	・本格的な受入れの実施
戦略5. 地域特産品の開発	戦略5-1 酪農の6次産業化や特産品開発		・過年度の取り組み状況等の整理 ・6次産業化や特産品開発の方向性検討	・6次産業化に向けた組織の検討 ・6次産業化や商品の開発検討	・来訪者等に向けた商品等の販売
	戦略5-2 トナカイや合鴨の生産強化及び新たな商品の開発		・トナカイの生産強化、新たな商品の方向性及びメニューの検討	・開発したメニューの提供と改善	・本格商品化
	戦略5-3 地域特性を活かした農業の展開		・幌延らしい農業のあり方や組織の検討	・試行の実施	・生産体制の強化
	戦略5-4 湧水の活用		・町内飲食店などによる活用の推進 ・ゼリーなどの飲料水以外の活用方法の検討	・来訪者等へのPRによる「湧水」のブランド化	・湧水をさらに活用するための環境整備
	戦略5-5 外部連携による食資源の活用		・幌延町や幌延産食材をPRを目的に外部機関と連携体制の構築	・連携による食資源の活用・PRの実施	・外部との連携拡大
戦略6. 冬の賑わい創出	戦略6-1 アイスキャンドル等による官民連携・協働イベントの開催		・継続的なイベント開催に向けた体制・仕組みづくり	・継続的なイベント実施	・イベントを活用した誘客・交流人口の拡大
戦略7. 情報発信の強化	戦略7-1 動画等による情報発信の強化		・観光協会の体制強化等による情報発信主体・体制の検討 ・観光PR動画の制作検討	・幌延町を発信する公式的なSNS等の立ち上げ	・幌延町情報発信プラットフォームの設立
	戦略7-2 観光大使による情報発信の強化		・大使を活用した町の広報方策の検討	・町の認知度向上を目的としたイベント等の検討	・移住や定住を目的としたイベント等の検討
	戦略7-3 町内飲食店の情報発信の強化		・旅行者等に向けた分かりやすい情報発信の実施（マップ等）	・ウェブサイト等による外部への情報発信の充実	・旬な情報の発信や各店ごとの情報発信の充実
	戦略7-4 ホスピタリティの充実		・幌延町らしいおもてなしのあり方を検討	・おもてなしに関する勉強会などの開催による普及	・来訪者へのおもてなしの充実
戦略8. 幌延町と宗谷地域における交流・交通の要処となる拠点の整備	戦略8-1 町民や多様な旅行者が集う拠点		・拠点設置個所の特定及び場所を踏まえた機能の絞り込み ・実施主体の検討	・実施計画の策定 ・拠点整備	・拠点の運営 ・拠点を中心とした交流人口の拡大
	戦略8-2 地域特産品の販売など、まちのブランド化、活性化につながる拠点				
	戦略8-3 道や川など多様な移動手段の拠点				